

# 令和3年度 旭川歯科学院専門学校 学校自己評価結果報告書（集計）

## 1. 学校の教育目標

<教育目標>豊かな人間性を有し、歯科衛生士としての優れた技を磨き、良き社会人を目指す。  
 <基本方針>\*具体的な方策  
 1. 全ての学習活動において、謙虚さを育み、気節を鼓舞し、創造への意欲づけを図る。  
 2. 口腔衛生の普及と進展を図り、地域社会と連携し社会貢献に努める

## 2. 本年度の重点課題（目標及び計画）

1. 教育 合格率100%（国家資格） 就職率100%  
 2. 地域社会との密接な連携を保ち口腔衛生の普及に尽力し、積極的に社会貢献に努める

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

### (1) 建学の趣旨と教育の方針（教育理念・目標）

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1					昨年度との比較	
・学校の建学の趣旨と教育の方針は定められているか。	4	(3.4)	3	2	1	0	
・将来的展望を踏まえて学校の将来構想を抱いているか。	4		3	(2.8)	2	1	0.2P下降
・学校の建学の趣旨・教育の方針・将来構想は学生・保護者等に周知されているか。	4		3	(2.8)	2	1	0.3P下降

#### ① 課題

- ・少子化・地域の人口減に伴う将来的な入学者減少の危機
- ・少子化、社会的変化に伴い学生数が確保できない時にどうするか。社会のニーズは何かを常に考え、それに対する教育内容の検討
- ・社会情勢に対する教育方針の明確化

#### ② 今後の改善方策

- ・将来構想対策委員会等による、早急の検討
- ・学生募集活動の行い方等の検討・工夫
- ・各種授業方法の充実や構築

#### ③ 特記事項

- ・カリキュラムの見直しが必要 学生数確保が困難な場合の対応について、定員の削減、体制の見直しを考えなければならない
- ・保護者に向けての周知は不十分、遠い将来については難しいが、在学期間内に関してはある程度知っていると思う

### (2) 学校経営方針（学校運営）

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1					昨年度比較	
・教育理念・目標に沿った学校経営方針が策定されているか。	4	(3.1)	3	2	1	0.3P上昇	
・学校経営方針に基づき、組織は有機的に機能しているか。	4		3	(2.6)	2	1	0.8P下降
・人事、給与に関する規定等は整備されているか。	4		3	(2.8)	2	1	0.3P下降
・地域社会等に対するコンプライアンス体制は整備されているか。	4		3	(2.9)	2	1	0.5P下降
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	4	(3.2)	3	2	1	0.2P下降	

#### ① 課題

- ・今回のコロナ禍のような緊急時の対応に関し、学生や父兄、地域への情報公開のあり方

- ・人的確保、個々の質の向上を図り、組織を有機的に機能させるためにはどうするか
- ・組織全体の効果的かつ有機的な運営

②今後の改善方策

- ・種々の危機的状況を想定し、スピーディーな対応、情報発信の仕組みを考案する
- ・本会会員との情報共有強化

③特記事項

- ・管理職、教員、事務職員の連携の強化。全員で問題を共有し、解決する姿勢が必要
- ・コロナ禍の工夫

(3) 教育活動 (各学年指導計画)

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				昨年度比較
・教育理念・目標に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4	3 (2.9)	2	1	0.5P下降
・カリキュラム(実習等を含む)は体系的に編成され学習時間の確保は明確化されているか。	4	(3.1) 3	2	1	0.7P下降
・成績評価・単位認定・進級・卒業の基準は明確化されているか。	4	(3)	2	1	0.1P下降
・教育の方針(人材育成)達成に向けた授業担当教員を確保しているか。	4	3 (2.4)	2	1	0.3P上昇
・教員の先端知識・技能等の習得及び指導力育成などの資質向上のための取り組みは行われているか	4	3 (2.3)	2	1	0

①課題

- ・臨床実習先の実技の時間
- ・国試不合格者への対応
- ・最近の教員の入れ替わりの多さで不慣れな教員もいると思われる
- ・各教員の知識や技術の一層の向上のためには時間的、数的余裕が無い
- ・変化する考え方への対応、新しい技術をいかに導入するか
- ・人材確保と質の維持
- ・国家試験対策授業の時間を多く取るための授業日程の再編成

②今後の改善方策

- ・実習先へのお願い
- ・国試不合格者への特別授業
- ・教員数の充実と研修機会の確保、教員育成
- ・校外研修、学会への参加、校内研修の充実
- ・教員育成、カリキュラム再構築

③特記事項

- ・臨床実習の前倒し。それに伴う登院試験の前倒し。
- ・将来を見据えた教員の確保が必要 経験の浅い教員が多く、今後の質の向上が必要
- ・校外研修、学会への参加、校内研修の充実、具体的に方策を検討しなければならない

(4) 学修成果

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				昨年度比較	
・就職率の向上が図られているか。	4	(3.6)	3	2	1	0.3P下降
・国家試験合格率の向上が図られているか。	4	(3)	2.3	2	1	0.7P上昇
・退学率の低減が図られているか。	4	3 (2.8)	2	1	1	0.5P上昇
・卒業後の生徒のフォローアップなされているか。	4	3 (2.6)	2	1	1	0.2P上昇

①課題

- ・国試不合格者への対応

- ・国家試験に対して3年次後半のみの対策で十分か？1年、2年からの対策は不可能か？
- ・国試合格率UP、維持
- ・模試等を細かく分析、成績下位の学生への介入。国試不合格者をいかに次年度合格へ導くか
- ・昨年度よりは国家試験の合格率は上がっているが、100%ではない

②今後の改善方策

- ・国試不合格者への特別授業、FBでの問題作成
- ・1・2年次からの国試対策を考える。時間確保の為カリキュラムの見直しも考慮する
- ・引き続き国試対策の強化は必要と思われる。又、就職後1年くらいはもう少しサポートがあってもいい
- ・学生の成績に合わせた指導、不合格者については勤務先院との密な連携、学習機会の確保
- ・弱い科目を分析し国家試験対策授業につなげていく

③特記事項

- ・生活指導の強化
- ・元担任を中心に卒業生への連絡をこまめにとる

(5) 学生支援

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				昨年度比較	
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	3,1	3	2	1	0,1P下降
・学生相談に関する体制は整備されているか。	4	3,1	3	2	1	0
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4	3,1	3	2	1	0,2P下降
・学生の健康管理を担う体制はある。	4	3	3	2	1	0,4P下降
・学生への生活環境への支援は行われているか。	4	3,2,8	3	2	1	0,1P下降
・保護者と適切に連携しているか。	4	3,2,9	3	2	1	0,2P下降
・卒業生への支援体制はあるか。	4	3	2,5	2	1	0

①課題

- ・生活環境が変わり経済的、精神的問題等のある学生や卒業生への支援体制が不明確である
- ・経済状況の悪い家庭もあり、就学困難な状況になった時の援助をどうするか
- ・休学、退学の原因究明、及び対策の明確化
- ・卒業生への支援体制とはどこまでを言うのか明確化されていない。

②今後の改善方策

- ・上記の問題に対する相談窓口の開設、内容別の支援体制構築と明確化を学校・歯科医師会・同窓会で協力し進めていく
- ・歯科医師会として返還義務のある奨学金はどうか(免除規定も含め)
- ・学生や保護者への積極関与

③特記事項

- ・会の経営状況にも余裕はないが
- ・地方学生への配慮を今後検討
- ・私的要素もあり、限界がある
- ・いつでも相談可だが、卒業時の担任退職等もある

(6) 教育環境

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				昨年度比較	
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	4	3,2	3	2	1	0,1P下降
・学内外の実施施設等について十分な教育体制を整備しているか。	4	3,1	3	2	1	0
・防災に対する体制は整備されているか。	4	3,1	3	2	1	0,4P下降

①課題

- ・実習機材の老朽化(特にエックス線実習に関するもの)

- ・臨床実習先での教育内容、評価等の違いがあり不均一さがある
- ・実習先により教育機会に違いがあり、そのバランスをどうするか。その施設の特徴をいかに把握するか
- ・災害や緊急時の対応方針

②今後の改善方策

- ・臨床実習先と連携し、カリキュラムと評価の均一化(均等化)を可能な限り行っていく
- ・連携強化、反省会等での問題点提起、マニュアル化
- ・学外との連携強化、IT を用いた情報共有

③特記事項

- ・会員実習先診療所との連携強化
- ・今後マニュアルの作成

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				昨年度比較
・学生募集活動は適性に行われているか。	4	3 (2.9)	2	1	0,5P下降
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4	3 (2.8)	2	1	0,3P下降
・学費等納入金は妥当なものとなっているか。	4	(3.2) 3	2	1	0,4P下降

①課題

- ・コロナ禍での募集活動
- ・募集活動で学生目線に立って活動やパンフレット等の作成ができればいいか
- ・定員確保
- ・入学希望者をもっと増やす
- ・OC にいかに学生を集めるか。歯科医師、DH から高校側への啓発。DH の仕事内容、将来性、キャリアアップ等具体的に示す

②今後の改善方策

- ・Web でも学院の案内ができるように、OC でもオンラインで学院の案内ができるように
- ・募集活動の説明内容の見直し、現役学生の意見などを参考にする。OC で現役学生の参加を常態化する
- ・地域の高校へのアピール、学院の広告を増やす。歯科衛生士の職業としての認知をもっと広めること
- ・短期的には運営委員の含めた高校訪問、会員から身近な関係者への啓発、誘導。オンライン活用
- ・インターネット、本会会員による情報発信の強化

③特記事項

- ・コロナ禍での制約が多い。
- ・高校訪問が制限され、伝わりきっていない。Web 活用

(8) 財務

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				昨年度比較
・中期的に学校の財政基盤は安定しているか。	4	3 (2.8)	2	1	0
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4	(3.1) 3	2	1	0
・財務について会計監査が適性に行われているか。	4	(3.5) 3	2	1	0,1P上昇
・財務情報公開の体制整備はできているか。	4	(3.1) 3	2	1	0,3P下降

①課題

- ・学生数減少が続けば長期的に経営困難になる。いかに啓発できるか

②今後の改善方策

③特記事項

- ・学生数減少が続くと、将来的に経営が厳しくなる
- ・入学促進事業の詳細検討

## (9) 地域社会貢献

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				昨年度比較	
・臨地実習等を通して生徒・教員による地域社会貢献を行っているか。	4	3	2.9	2	1	0,4P下降

## ①課題

- ・コロナ禍で制限されている

## ②今後の改善方策

- ・教員の意識向上をはかる

## ③特記事項

- ・去年はコロナ禍で実施できなかった

## (10) 法令等の遵守

評価項目	適切：4、ほぼ適切：3、やや適切：2、不適切：1				昨年度比較	
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運用がなされているか。	4	3.5	3	2	1	0,1P上昇
・個人情報に関して、その保護のための対策がとられている。	4	3	2.9	2	1	0,4P下降
・学校自己評価の実施と問題点の改善を図っている。	4	3	2.9	2	1	0,2P下降
・学校自己評価結果を公開している。	4	3.3	3	2	1	0,1P下降

## ①課題

- ・問題点の解決

## ②今後の改善方策

- ・一つ一つを具体的に検討する努力、会議等で協議する。

## ③特記事項

- ・評価は実施されているが改善されていない、問題点の改善が途上である